



2021年1月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社SKIYAKI

証券コード：3995 / 2020年12月11日



連結業績ハイライト

3Q業績サマリー



(単位：百万円)

	2020年1月期 第3四半期	2021年1月期 第3四半期	前年同期比
売上高	3,552	3,698	+4.1%
営業利益	87	160	+83.7%
経常利益	81	147	+80.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	40	67	+68.5%

- ・ FC（ファンクラブ）サービスの成長とECサービスの売上増加により、売上高が前年同期比で+4.1%増加
- ・ 人件費への積極投資を中心とした販管費の増加やO2O事業のセグメント損失をカバーし、営業利益が+83.7%増加
- ・ 経常利益と最終利益も好調に推移し、前年同期比で経常利益が+80.9%、最終利益が+68.5%増加

3Q業績サマリー



(単位：百万円)

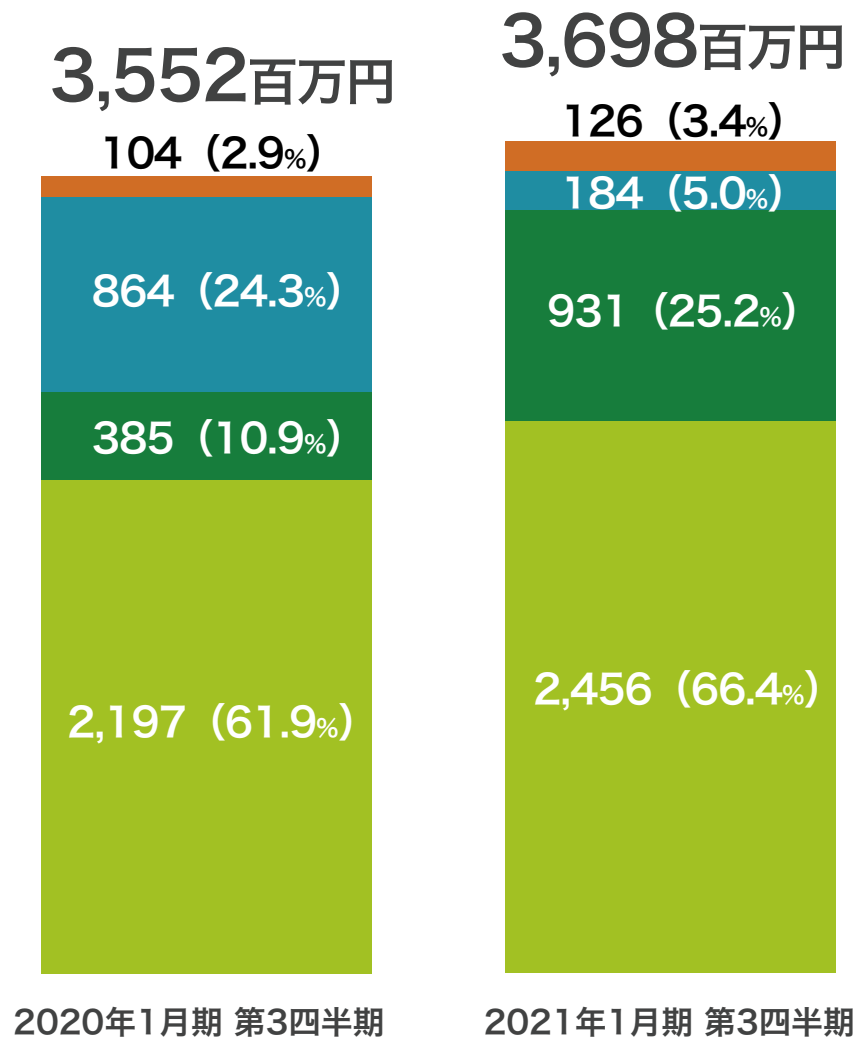
	2020年1月期 第3四半期	2021年1月期 第3四半期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率	主な増減理由
売上高	3,552	3,698	145	4.1%	有料会員増加によるFC売上増加(+258百万円)、オンラインでのグッズ販売好調によるEC売上増加(+546百万円)、ライブ・イベントの中止又は延期によるO2O事業売上減少(△680百万円)
売上原価	2,533	2,427	△105	△4.2%	上記売上増に伴うFCロイヤリティ増加(+195百万円)及びEC倉庫物流費用増加(+234百万円)の一方で、O2O事業売上原価の減少(△536百万円)
売上総利益	1,019	1,270	251	24.7%	
販管費	931	1,110	178	19.1%	
人件費	492	521	29	6.0%	前期よりエンジニアを中心に増員、その他前期4Qでの連結子会社2社増加の影響等により連結正社員数増加+11名
回収手数料	203	294	91	45.1%	変動費であり、FC及びEC売上増に伴う決済代行手数料増加
その他	236	293	57	24.2%	開発等業務委託費+23百万円、本社オフィス増床に伴う地代家賃・共益費+37百万円等
営業利益	87	160	73	83.7%	
経常利益	81	147	66	80.9%	営業外収益として受取家賃15百万円等を計上し、営業外費用として持分法による投資損失28百万円等を計上
親会社株主に帰属する 四半期純利益	40	67	27	68.5%	法人税等100百万円を控除し、非支配株主に帰属する四半期純損失△20百万円を加味

サービス別売上高



FC EC O2O事業 その他

(単位：百万円)



売上高合計
3,698百万円



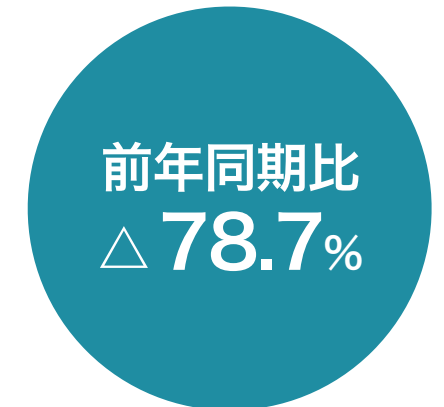
FCサービス
売上2,456百万円



ECサービス
売上931百万円



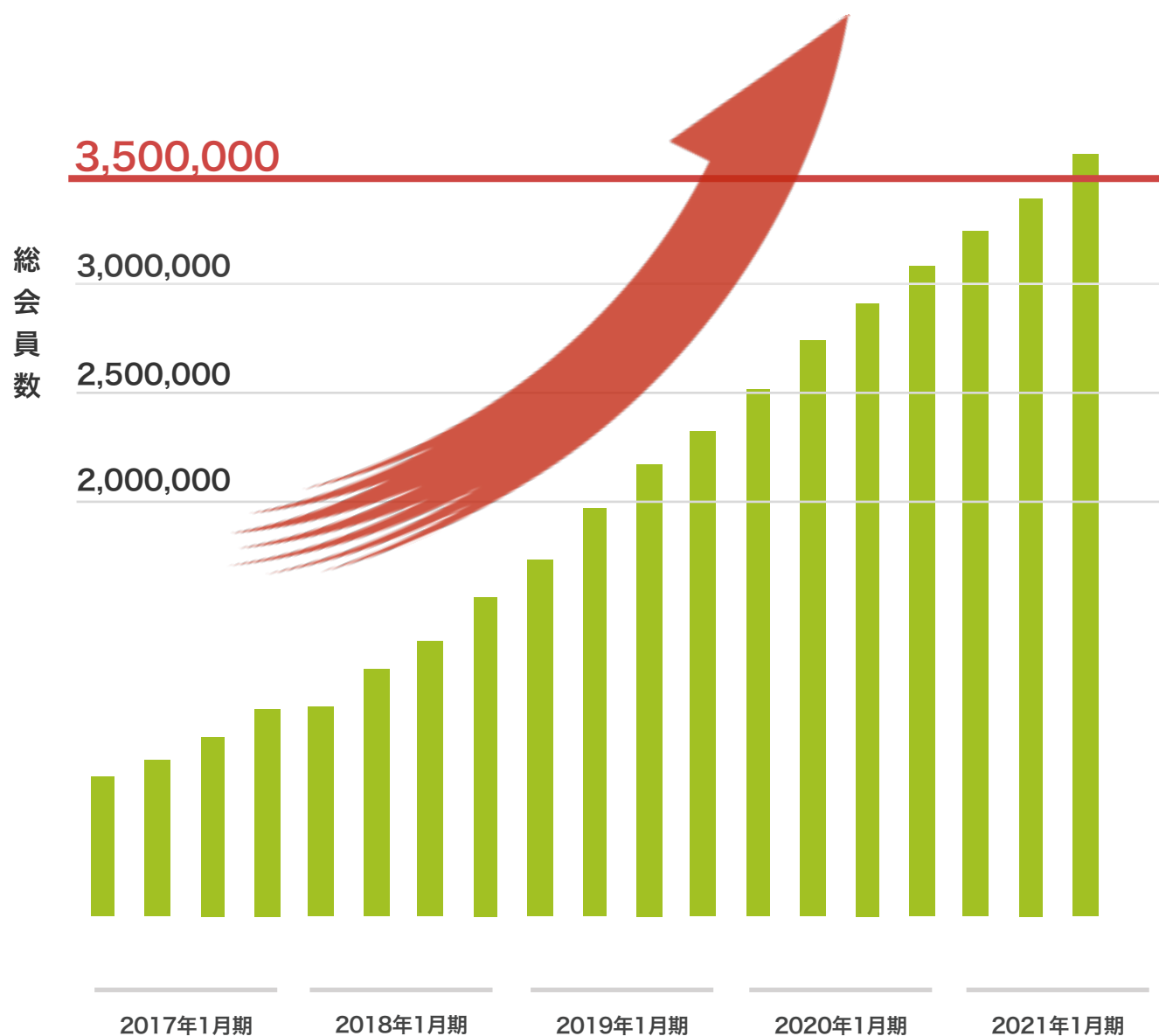
O2O事業 (注)
売上184百万円



- ・ FCサービスは有料会員数が前年同期比 +3.7万人 (+4.6%) と堅調に推移し、売上高が増加
- ・ ECサービスはライブ中止等の影響によりオンラインでのグッズ販売が加速、売上高が大幅に増加
- ・ ライブ制作を含むO2O事業はCOVID-19の影響により公演の中止・延期を余儀なくされ、売上高が大きく減少

(注) 1Qにおいて、連結子会社である(株)SKIYAKI LIVE PRODUCTIONを存続会社として、連結子会社である(株)SKIYAKI APPSを消滅会社とする吸収合併を実施したことに伴い、(株)SKIYAKI LIVE PRODUCTIONが行うライブ制作事業を、(株)SKIYAKI APPSが行っていたO2O事業に吸収させる形で、新たに「O2O事業」として両事業を統合しております。

会員数



総会員数

※2020年10月末日現在

363.4万超

有料会員数

※2020年10月末日現在

83.3万超

※総会員数とは、FC・ECサービス、AMIPLÉ、LiveFansの会員数の合計です。



サービス数

740

サービス数
前年同期比
+14.0%

FC

EC

その他

440サービス

268サービス

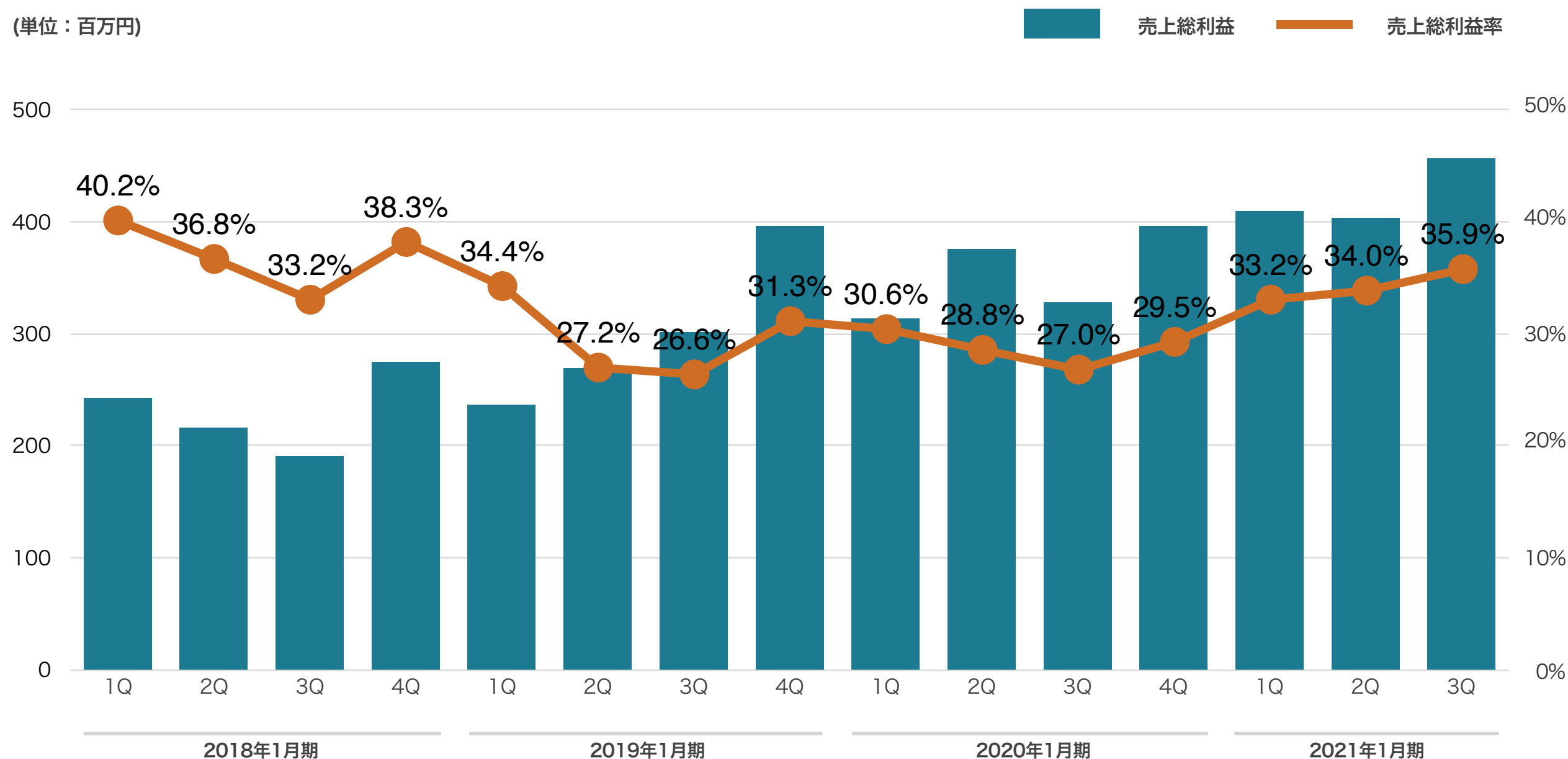
32サービス

※2020年10月末日現在

売上総利益と売上総利益率の推移



(単位：百万円)



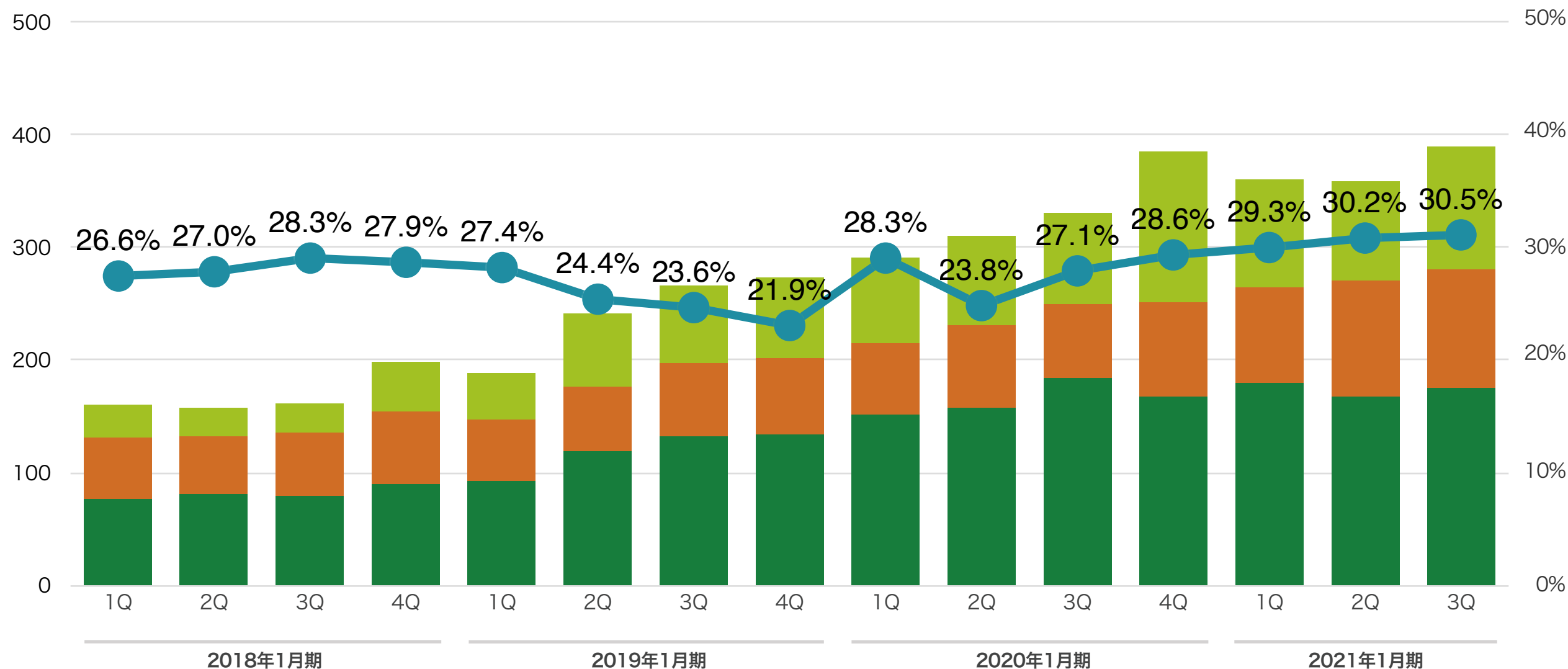
- ・ 季節変動はあるものの、売上総利益金額は売上高の増加により継続して増加傾向にあり
- ・ 当期3Q 会計期間（3ヶ月間）においては、ECサービス売上高が直前四半期比で19百万円増加（+5.9%）、ライブ制作を含むO2O事業の売上高も底を脱して増加に転じ、同20百万円増加（+242.2%）した影響等により、売上総利益金額は53百万円増加
- ・ 利益率の高いECサービスの売上増加により、売上総利益率は+1.9ポイント上昇

販管費と売上高販管費率の推移



(単位：百万円)

■ 人件費
 ■ 回収手数料
 ■ その他販管費
 —●— 売上高販管費率

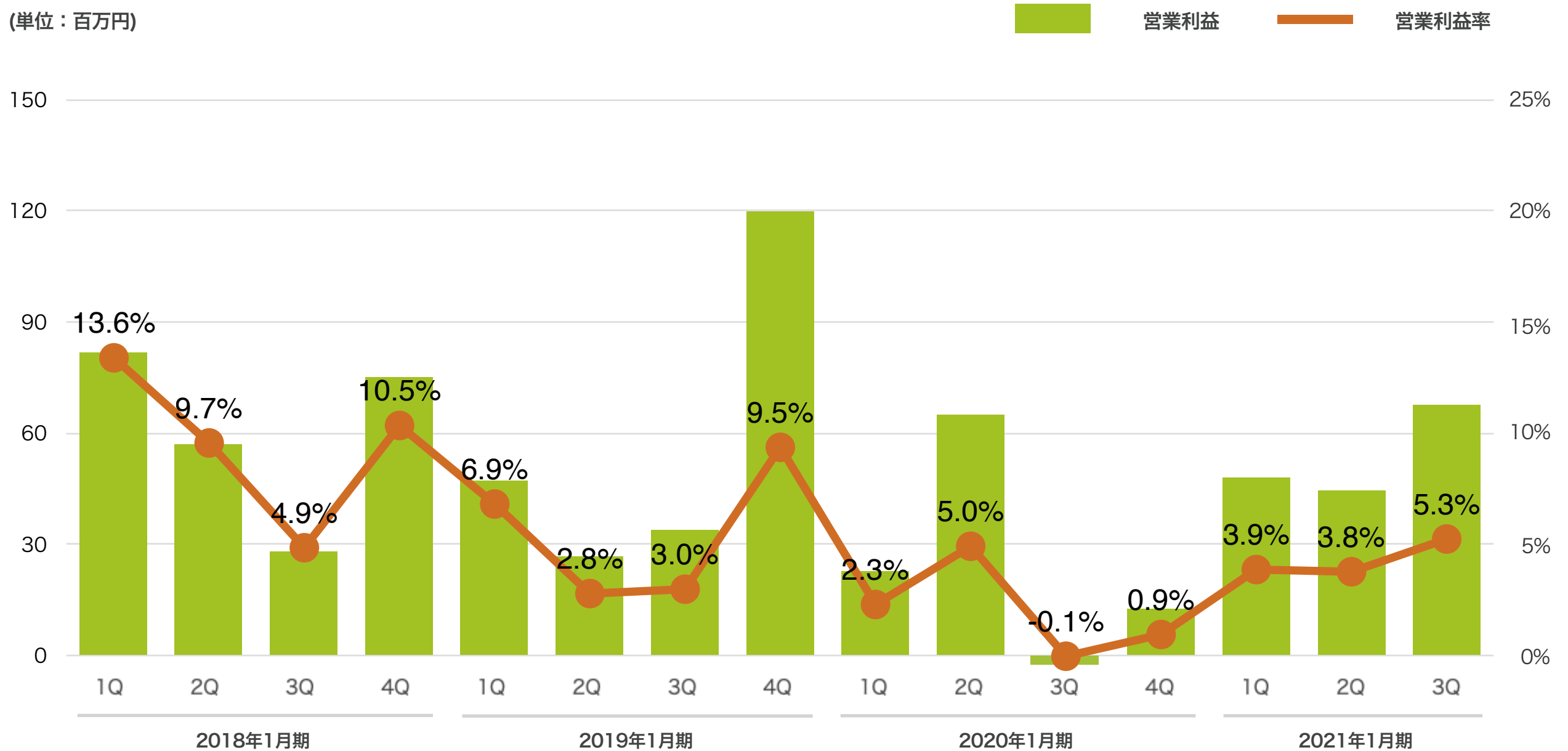


- ・ グループ全体での積極的な人材採用及び連結子会社の増加等により、人件費は直前四半期比で+4.0%、変動費である回収手数料はFC及びECサービスの売上増により直前四半期比で+2.5%、その他経費は主に開発等に係る業務委託費+13百万円により21百万円増加 (+24.0%)、販管費全体で30百万円増加 (+8.5%) と微増
- ・ 売上高販管費率は直前四半期比で+0.3ポイント上昇

営業利益と営業利益率の推移



(単位：百万円)



- ・ FC及びECサービス売上増加の影響により、直前四半期比で営業利益は23百万円増加 (+52.1%)
- ・ 利益率の高いECサービスの売上増加により、営業利益率も+1.6ポイント上昇

新型コロナウイルスの事業への影響状況



GOOD



EC

ライブの中止や延期を受けて、アーティストのオンライングッズ販売が更に加速、ECサービスの売上高が1Q~3Qで大幅に増加。(前年同期比+141.7%)



今後の見通し VERY GOOD



EC

×



MD

MD事業(商品企画製造)の本格的な稼働が開始。3Qまでに複数アーティストのグッズ製作実績があり、4Qでも一層の売上増を目指す。

NORMAL



FC

ライブのチケット先行予約中止等による影響(会員伸び悩み)は受けているが、新規案件(3Q累計で44件)はリモート下でもオープン(会員増)できており、10月より有料会員数は増加に転じる。



今後の見通し GOOD



FC

×



ライブ配信

新規サイトオープンのペースは維持。ライブ配信の実績を積み上げており、今後も会員限定ライブ視聴・限定チケット購入目的での入会者数の増加を目指す。

BAD



O2O

ライブ・コンサートの中止又は延期により、ライブ制作収入が減少するなど、直接的な影響を受けている。(前年同期比△78.7%)



今後の見通し NORMAL



ライブ配信

×



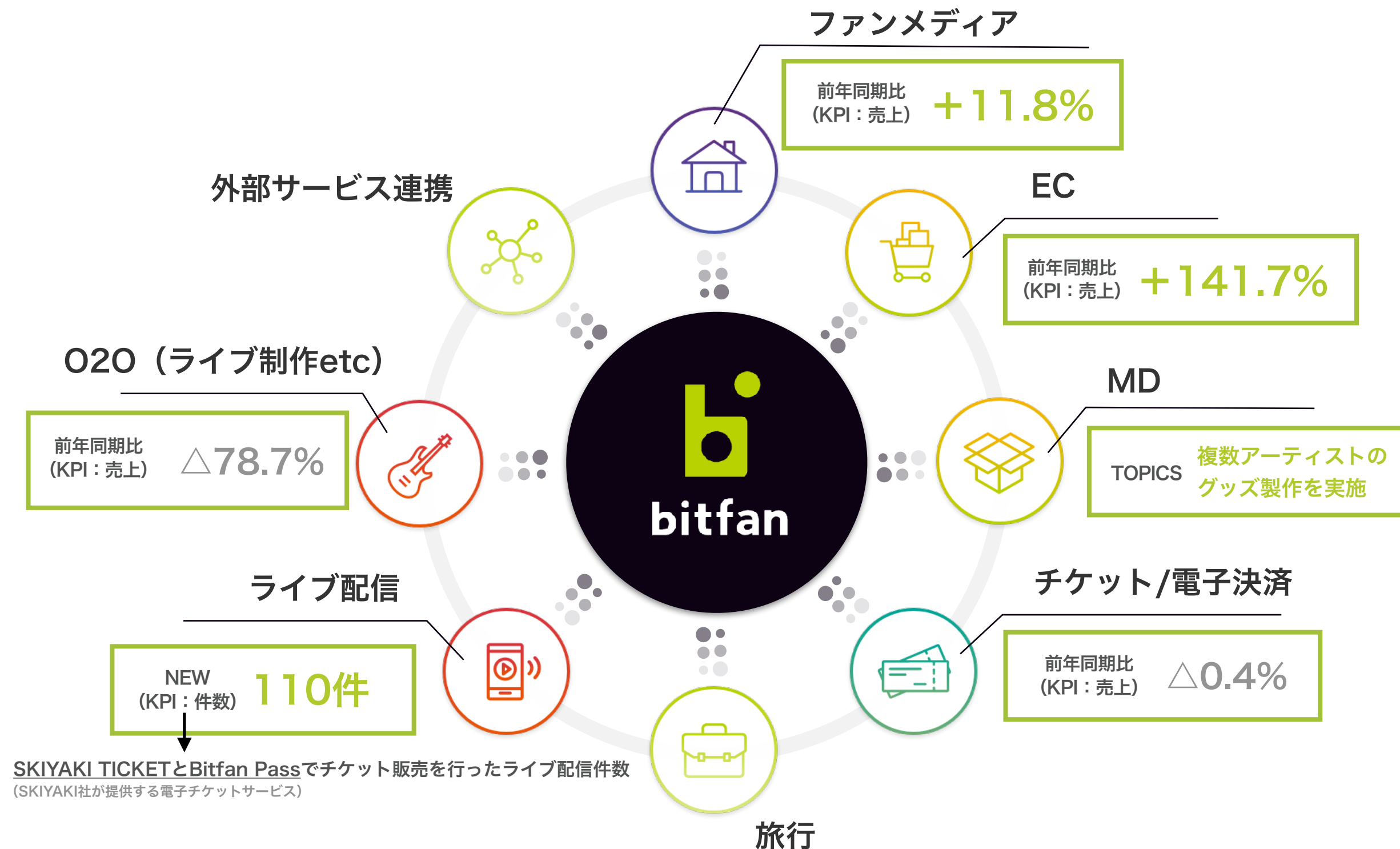
MD

延期したライブ・コンサートの収入により、長期的には売上が回復する。一方、エンタメ業界のパラダイムシフトを前提に、オンラインライブ制作とMD事業にサービス軸を移し、新たな収益源の確保を目指す。



事業トピックス

オムニチャネル展開進捗状況



月会費設定の多通貨対応をリリース。居住国が日本以外のユーザーには、USDやKRWでの決済が可能に。

月会費 ⓘ

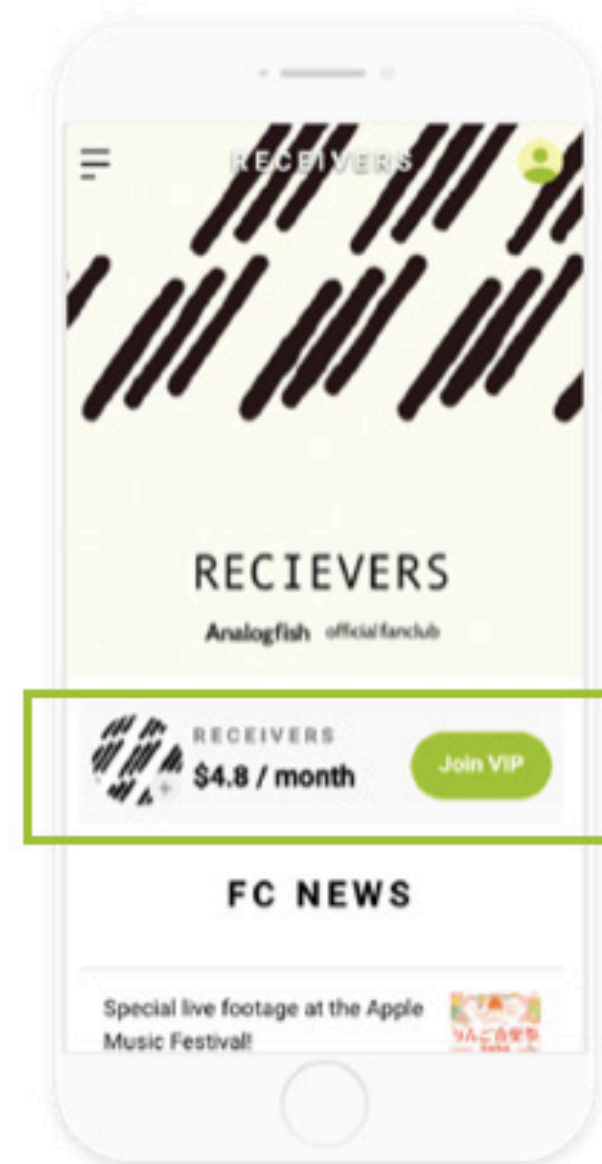
ファンクラブの月額設定(税込)を行います。WEB決済とアプリ決済の収益還元率についてはこちらをご確認ください。
※後から変更できません。慎重にご登録ください

WEB	月額 \$4.99
アプリ	🍏 月額 \$7.99 ・ 🍏 月額 \$7.99

会員番号の先頭文字

ABC- 000000

※後から変更できません。慎重にご登録ください
※半角英数字、半角ハイフン「-」がご利用いただけます





Bitfan Pass、ぴあのCloakと連携開始



「Bitfan Pass」とぴあのチケット流通プラットフォーム
「Cloak」がシステム連携。



bitfan Pass



本連携により、業界最大手のチケットぴあが提供するチケットサービス
「Cloak」にて取り扱う公演（※）で「Bitfan Pass」を利用したチケット
の発券ができるようになりました。

※ 「Bitfan Pass」での発券を利用するには、興行主からチケットぴあへの委託時に「Bitfan Pass」の利用希望をお伝えいただく必要があります。



ダッシュボードのリニューアル



オーナー向けダッシュボードのデザインリニューアル。
今後もファン分析が可能な機能を追加予定。



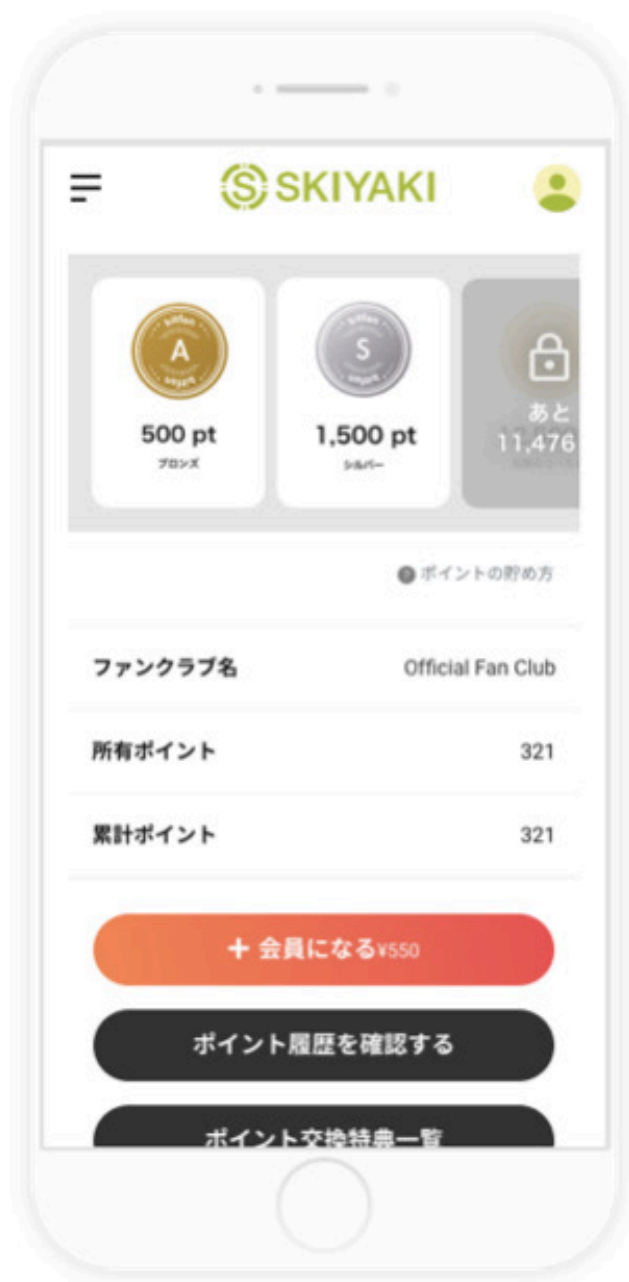
※会員居住地は現在開発中



ポイントコンテンツの強化



累計ポイント数に応じて、特典となるコンテンツが閲覧できる、
新たなポイントコンテンツをリリース。



新機能



従来のリターン



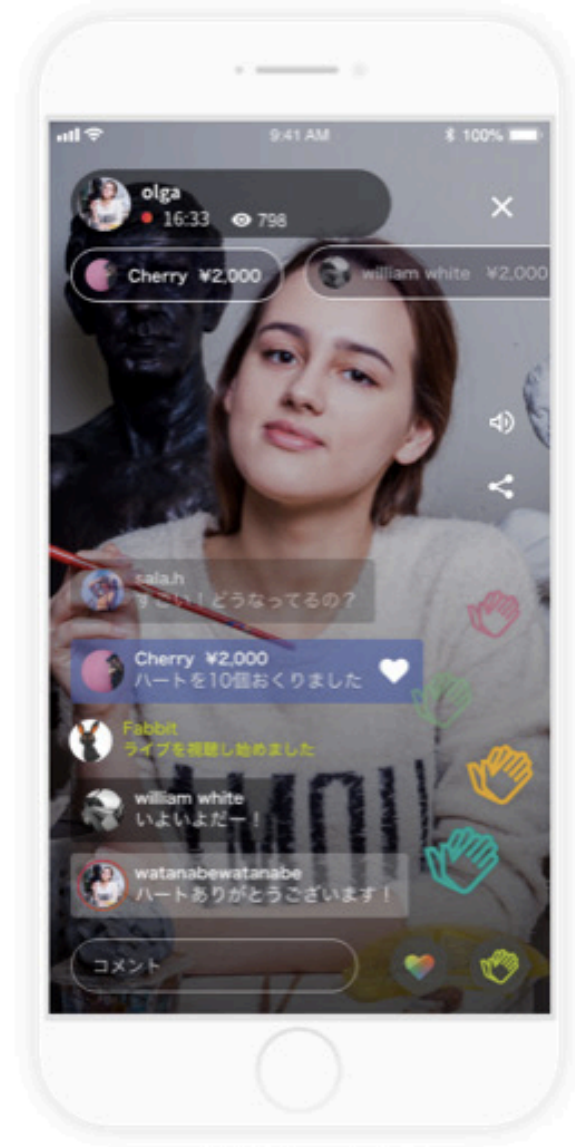
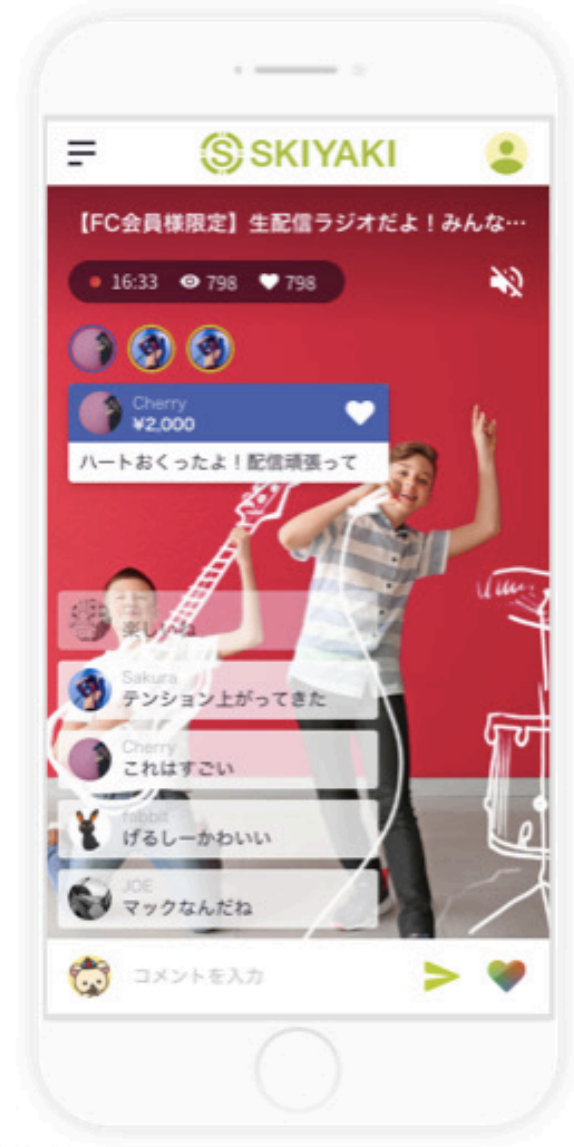
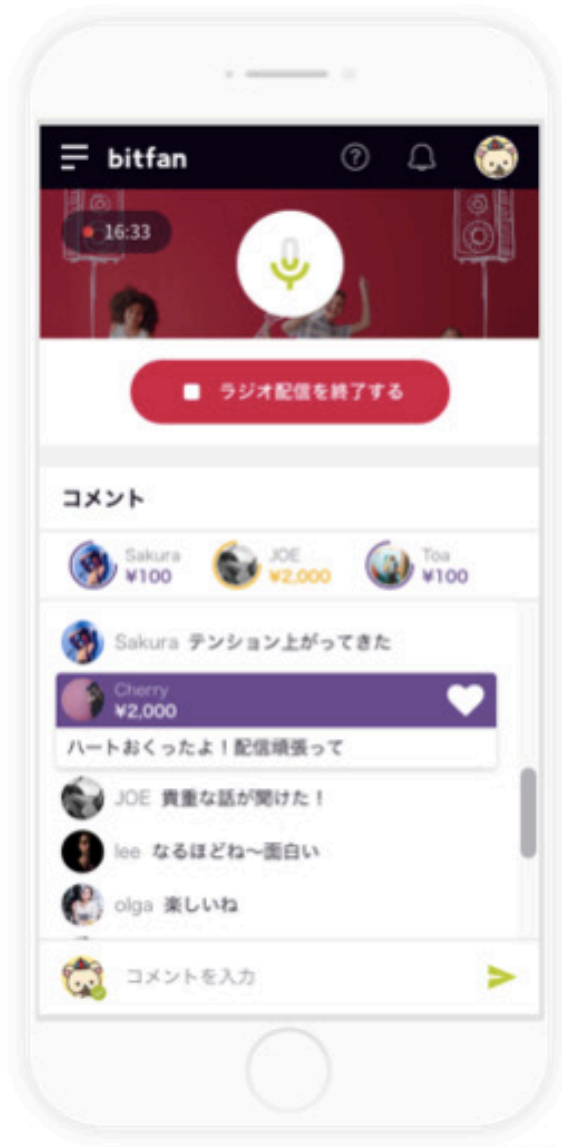
ライブ配信の新機能を開発中



WEBのライブ配信機能に「音声ライブ配信」をリリース予定。
また、ライブ配信のアプリ対応も4Qに予定。

音声ライブ配信 (WEB版)

ライブ配信 (アプリ版)



※開発中の画面

※開発中の画面



Bitfanのオーナー拡大



広瀬香美



橋本真一



Analogfish



HAND DRIP



イルカ



AIBPEN



竹村真琴



池田智子



Bitfan Proサービスリリース



新型コロナウイルス禍においても、2Q以上にサイトをリリース。



2021年1月期 第3四半期 (2020年8月1日~2020年10月31日) 実績



Bitfan Proジャンル展開①



韓流

1Q・2Qに引き続きNEXTブレイクが期待されるグループを多数リリース。

NIK

人気ダンスヴォーカルグループSUPERNOVAのユナクをプロデューサーとするアイドル育成プロジェクト「G-EGG season1」を経て結成された日韓合同グローバルグループ。

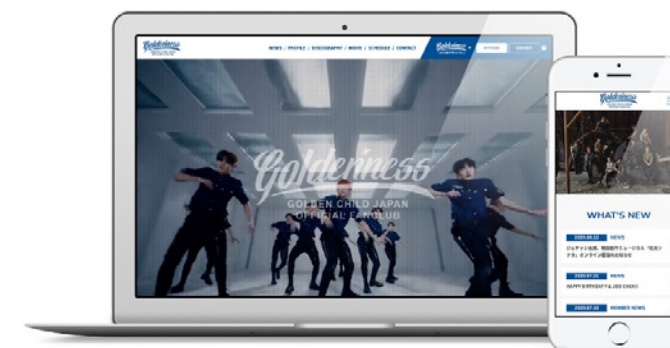


G-EGG Producer
V ENT Inc.代表
정윤학(チョン・ユナク)

ONF



Golden Child



2021年1月期 第3四半期 (2020年8月1日~2020年10月31日) 実績



Bitfan Proジャンル展開②



2.5次元俳優

まだまだ続く仮面ライダー、人気2.5次元作品出身の俳優達の単独ファンクラブを多数リリース。

三浦涼介



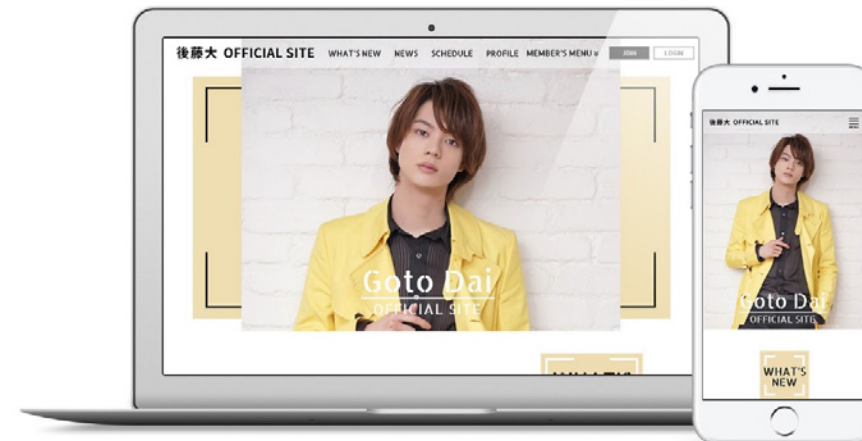
大崎捺希



渡部秀



後藤大



2021年1月期 第3四半期（2020年8月1日～2020年10月31日）実績



Bitfan Proジャンル展開③



バンド & YouTuber

元祖メロコア「Hi-STANDARD」の正統後継バンドである「WANIMA」や、人気YouTuber「Yapp!」 & 「米村海斗」のWプロデュースグループ「9bic」など、現在エンタメシーンを牽引する人気バンド・グループの単独FCを展開。

WANIMA

横山健 (Ken Yokoyama / Hi-STANDARD) が主宰する音楽レーベルPIZZA OF DEATH RECORDS所属の熊本出身3ピースバンド。さいたまスーパーアリーナ単独公演や、紅白出演の実績ありの現在進行形の実力派バンド。



9bic

「現在 (イマ) を生きる王子様 (プリンス) 達」をコンセプトに、YouTubeでは「ハコイリムスコ」として、アイドルでは「9bic」として活動。



2021年1月期 第3四半期 (2020年8月1日~2020年10月31日) 実績



LIVE配信実績 (Bitfan Pro利用アーティスト)

8月～10月で**58件**以上の配信実績

(会員限定配信・限定チケット購入)

声優・歌手

内田彩



Vocal group

WHITE JAM



▼実施アーティスト

WILL-O'/nano/Wakana/FIVE NEW OLD/上西恵/佐伯大地/大橋彩香/仙名彩世/Task have Fan/新田恵海/さだまさし/Machico/ウソツキ/M!LK/ゑんら/小西遼生/ASH DA HERO/Pile/駒形友梨/WHITE JAM/牧島 輝/三澤紗千香/其原有沙/エアリービーズ/TFG/崎山つばさ/HYDE/大橋彩香/B1A4/可愛い連中/鬼束ちひろ/咲妃みゆ/前島亜美/VICTON(ハンスンウ)/指原莉乃/ゑんら/FIVE NEW OLD/川後陽菜/KIM JAEHWAN/岸祐二/NIK/大原櫻子/TIF/B Of You/DaizyStripper・ダウト/春奈るな/ゑんら/如月蓮/MWAM/内田彩/NU'EST/Full Of Harmony/鈴木拓樹



MD事業製作実績



期中から事業部化。クライアントのニーズに合わせた企画・提案により
案件実績を積み上げ、MD→ECの一気通貫を実現。

MDチーム始動



ROTTENGRAFFTY
ドブネズミぬいぐるみ



MAN WITH A MISSION
10周年記念デカピック



高野洸
アドラぬいぐるみ



最上もが
マグカップ&蚊取り線香

ものづくりを通じてアーティストのブランド価値向上に寄与



経営体制の変更

新たな経営体制について



プロダクト開発責任者である小久保知洋が代表取締役へ就任。
引き続き「Bitfan」に注力した事業活動を展開。

2020年12月11日以降の取締役会構成

代表取締役 社長	小久保 知洋
取締役	酒井 真也
取締役	廣田 政智
取締役	那須 淳
取締役（監査等委員・常勤）	豊田 洋輔
取締役（監査等委員）	井上 昌治
取締役（監査等委員）	近田 直裕

※ 玉上宗人前取締役 : 一身上の都合により11月19日付で退任
宮瀬卓也前代表取締役 : 一身上の都合により12月11日付で退任

ミッション・ビジョン



新たな体制下では、よりテクノロジーを中心とした経営スタイルへシフト。ミッション・ビジョンはそのままに、Fantech領域で継続して事業活動に取り組んでいく。

MISSION

創造革命で
世界中の人々を幸せに

「創造革命」 = 人間が最も力を発揮できる「創造・遊び」の領域における革命的な変化

VISION

Fantech分野で新たな
マーケットを創造し、
世の中に価値を提供する。

“FanTech” = Fan × Technology

事業概要



Bitfanをベースに、ファンメディア・EC・チケットなどオムニチャンネルにサービスを展開



Bitfan Pro (従来型)

Bitfan (オープン型)



- ・ 都度契約が必要なサービス
- ・ コンサルティング担当有り



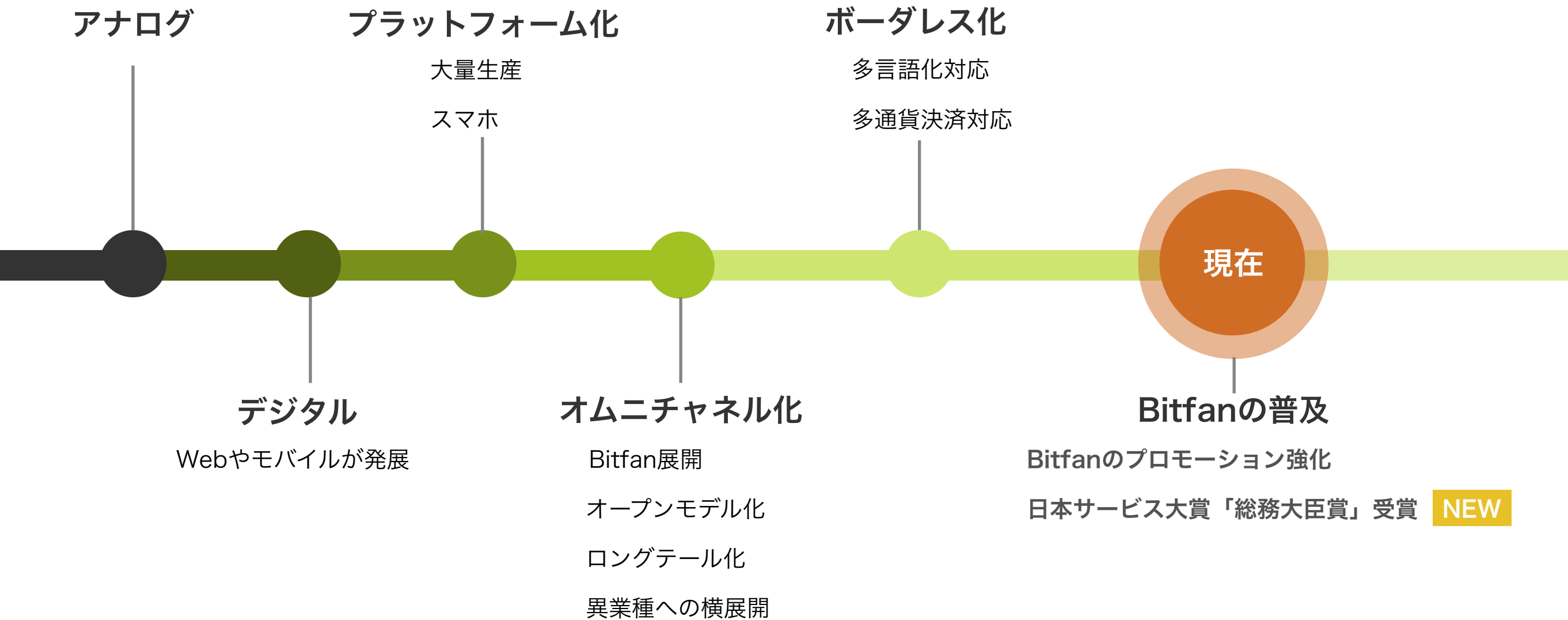
- ・ 「誰でもすぐに」始められるサービス
- ・ セルフマネジメント型

ファンマーケティングプラットフォームの確立を目指す

ファンビジネス ロードマップ



時代の潮流に沿って集中と選択で事業を拡大 → グローバル展開に注力



ファンマーケティングをグローバルに展開していく

日本サービス大賞 「総務大臣賞」 受賞



公益財団法人日本生産性本部サービス産業生産性協議会主催の
第3回日本サービス大賞においてBitfanが「総務大臣賞」を受賞。



日本サービス大賞 NIHON SERVICE AWARD

第3回 日本サービス大賞 総務大臣賞



受賞理由

- ①従来アナログだったファンマーケティング業務をデジタル化して効率を高め、業界全体の生産性を向上。ファンの熱量をデータ化することで新たな価値を生み、「好き」を仕事にできる世の中づくりに貢献。
- ②創作者などのオーナーに新たな活躍の場と収益源を提供し、これからの世代の創作活動を支援。コロナ禍にも強い事業体質を持つ。
- ③多国籍化するファンへの発信の場として、日本のカルチャーをグローバルに展開する支援につなげている。

会社概要



会社名	株式会社SKIYAKI (SKIYAKI Inc.)
本社所在地	東京都渋谷区道玄坂1-14-6 ヒューマックス渋谷ビル 3F
設立	2003年8月
資本金	582百万円
連結従業員数	99名
主な株主	株式会社蔦屋書店

役員構成

代表取締役 小久保 知洋
取締役 酒井 真也
取締役 廣田 政智
取締役 那須 淳
取締役（監査等委員） 豊田 洋輔
社外取締役（監査等委員） 井上 昌治
社外取締役（監査等委員） 近田 直裕
執行役員 福池 悟

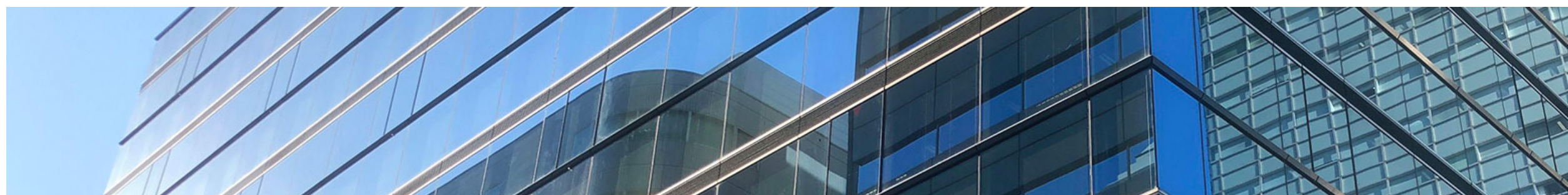
関係会社

連結子会社

株式会社ロックガレージ
株式会社SKIYAKI LIVE PRODUCTION
株式会社SEA Global
SKIYAKI 65 Pte. Ltd.
SKIYAKI 82 Inc.

持分法適用関連会社

Remember株式会社
株式会社3DAY
株式会社コンテンツレンジ
ディグ株式会社



※2020年12月11日現在



連結子会社



SKIYAKI 65 Pte. Ltd.
事業内容：シンガポールにおける当社プラットフォームのプロモーション及びサービス提供



SKIYAKI 82 Inc.
事業内容：韓国におけるメディア・マネジメント・eコマース運営事業



株式会社SKIYAKI LIVE PRODUCTION
事業内容：コンサート・イベント制作事業



株式会社SEA Global
事業内容：スポーツマーケティング事業



株式会社ロックガレージ
事業内容：旅行・ツアー事業

持分法適用関連会社



Remember株式会社
事業内容：クラウドエージェントサービス



株式会社3DAY
事業内容：ペット関連各種サービス



株式会社コンテンツレンジ
事業内容：アーティストマネジメント事業



ディグ株式会社
事業内容：人材紹介・就活支援事業

本資料の取り扱いについて



- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。
これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般的に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示原則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- なお、本資料のいかなる部分も一切の権利は当社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

